

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	基礎デザイン実習B	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	教科書：なし　材料：適宜配布または各自用意				
担当教員情報					
担当教員	大山敏弘		実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的					
立体造形を通じ、デザインにおけるアイデア展開力・素材に関する知識を習得する。身近にある紙や木、スチレンボードといった加工しやすく扱いやすい素材をテーマに様々な視点から作品を創出できる感覚を養う事が目的である。また他の学生の作品を横に見ながら制作する事で完成度のレベル、工夫の仕方等を学んでいく。					
到達目標					
基本となるデザインで扱う素材（紙・木・スチレンボード等）の工作方法や特性を知る。 立体・空間デザインのもととなるアイディア力を養う。 多角的にアイデアを観察・創作・評価できる感覚を養う。					
教育方法等					
授業概要		立体・空間デザインの基本的な知識・技術を習得し、1年後期以降の各学科での専門領域での課題にスムーズに移行できる内容とする。立体・空間デザインの面白さ・難しさを体感的に学習することで平面系を含んだデザイン系全般で応用可能な課題を実施する。抽象的課題から具象的内容の課題まで様々な体験を通じ、完成させることの喜びを学ぶ。また、カッターの扱い方等技術的な面も訓練する。			
注意点		道具の使い方、素材の扱い方に注意し怪我をしないようにする。 制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。 やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員か補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。 授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。			
評価方法	種別	割合	備　考		
	試験・課題	80%	課題の完成度・アイデア・プレゼンテーションの内容を評価する		
	平常点	20%	授業中の態度・出席率を評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス　スパゲティタワー		自己紹介　初対面の人とコミュニケーションできる　チームで行動できるようになる		
2回	チョークの彫刻1		立体デザインの概念・ルールについて理解し、今後のプログラムに当てはめてイメージできるようになる チョークの素材について理解し、自分のイメージで造形できるようになる		
3回	チョークの彫刻2		自分のチョーク作品をプレゼンテーション、作品意図を他者に対して簡単に発表できるようになる		
4回	スチレンボード立方体		スチレンボードを美しく切断・加工できるようになる スチのりを使用して美しく部材同志を接着できるようになる		
5回	紙の立体1		平面から立体に変化する紙の面白さを理解し、基礎的なカッターの使い方ができるようになる		
6回	紙の立体2		基礎的な紙立体の構成からオリジナルの構成にデザインできるようになる		
7回	紙の立体3		紙の立体作品をプレゼンテーション、作品意図を他者に対して具体的に発表できるようになる		
8回	線の構成1		スチレンボードを均一の太さで美しく切断できるようになる 線の構成の基準をスチレンボードでデザインできるようになる		
9回	線の構成2		糸のこ・バンドソーを安全に気を配りながら作業できるようになる 同一サイズの部材を正確に量産・加工できるようになる		
10回	線の構成3		同一サイズの部材を正確に同一パーツとして量産できるようになる 量産したパーツを美しく立体構成できるようになる		
11回	線の構成4		線の立体をプレゼンテーション、作品意図を他者に対して具体的に発表できるようになる		
12回	空間のデザイン1		空間構成の面白さを理解しアイデア展開できるようになる		
13回	空間のデザイン2		アイデアを元に素材を収集・空間に構成できるようになる		
14回	空間のデザイン3		空間デザインの意図を明確にしながらオリジナリティのある空間デザインができる		
15回	空間のデザイン4		作品をプレゼンテーション。空間についてのプレゼンテーションができるようになる		